

フィリピンは身分系の在留資格「永住者」等が多く、転職、解雇の率は低いですが、就労サポートを希望している割合が高いです。おそらく、自分たちで新しい仕事を見つけることができず転職の意味での就労サポートを希望しているのでしょう。ベトナムのほとんどは、今回の調査では留学生でした。彼らは、解雇に遭い、転職もしています。彼らは週に28時間制限のアルバイトで学費と生活費を賄っています。ですから、仕事を失っても、すぐに次の仕事を見つけなければなりません。だからこそ、就労サポートの希望が多いのでしょう。ネパールのほとんどは「技能」で料理人として働いていて、料理人以外の仕事はできません。また、パキスタンについては「技術・人文知識・国際業務」のうちの「国際業務」での就労が多いと見込まれます。在留資格により仕事内容が決められているので、職を失ったときには自分たちのネットワークで仕事を探さざるを得ないでしょう。そのため、就労サポート希望の割合はそれほど高くないと考えられます。中国の場合、解雇率、転職率も低く、就労サポートの希望の割合も低いです。日本に定着している様子が見えてきます。以上のように簡単ではありますが、調査シートにおける就労分析の報告です。詳細については、「分析報告書」にて述べているのでご覧ください。

調査に協力をしてくれた団体等（順不同）

(学法)古藤学園 CAD製図専門学校、東京アジア学友会、越谷国際交流サークル、リングル・こしがや、多文化こども学習塾、Baitul Amon Masjid Complex（以上、越谷市）、グローバルファミリー、武里日本語教室（以上、春日部市）
(公財)戸田市国際交流協会（戸田市）、ホサナ福音キリスト協会 吉川チャペル（吉川市）、パワーケバブ（草加市）

調査員の出身国

中国5人 フィリピン19人 タイ2人 パキスタン2人 ネパール4人
Bangladesh 1人 韓国1人 多文化サポーター4人 日本人10人 合計48人

事業名 COVID-19 禍における在住外国人の就労支援とワクチン接種に関する事業
— 公益財団法人かめのり財団緊急支援プロジェクト助成事業 —

発行日 2022年3月



発行者 一般社団法人 多文化共生コスモ越谷

URL <https://www.tabunka-kosumo.or.jp>

※一般社団法人 多文化共生コスモ越谷は2021年1月に設立した地域の多文化共生を推進する団体です。私たちは多文化理解・交流・サポートを中心に活動しています。会員は随時募集ですので、ご希望の方はホームページよりお申込みください。